

第五十九回帝國議會
衆議院

抵當證券法案外九件委員會會議錄(速記)第七回

會議

昭和六年三月二日(月曜日)午前十時五十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 荒川 五郎君

理事 小峰 滿男君

理事 篠原 陸朗君

理事 勝田 永吉君

理事 大崎 清作君

理事 板谷 順助君

小村 俊一君

藍川 清成君

關口 志行君

磯部 清吉君

石崎 敏行君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 小川郷太郎君

大藏省銀行局長 大久保偵次君

司法政務次官 川崎 克君

司法參與官 井本 常作君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 植原悦二郎君

司法書記官 森田豐次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
抵當證券法案(政府提出)
不動産登記法中改正法律案(政府提出)

民事訴訟法中改正法律案(政府提出)

競賣法中改正法律案(政府提出)

民事訴訟用印紙法中改正法律案(政府提出)

日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)

農工銀行法中改正法律案(政府提出)

北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)

國稅徵收法中改正法律案(政府提出)

貯蓄銀行法中改正法律案(政府提出)

○荒川委員長 是ヨリ抵當證券法案外十件ノ委員會ヲ續行致シマス、前回ニ於テ皆サンノ御承諾ヲ得マシタ通リ、本日ハ抵當證券法案外九件ノ討議ヲ致シテ本日決定ノ上、明日ノ本會ニ報告シタイト思ヒマスガ、ソレニ先立ツテ多少ノ御質問等ハ此際御許シ致スコトニ致

シテアリマス、併シ大分時間モ過ギマシタカラ、成ベク簡單ニ御願ヒ申シタイト思ヒマス、政府委員ハ大藏政務次官ハ只今出席ニナリマシタガ、貴族院ノ方デ呼びニ參リマシテ、其方ニ今行ツテ不在デアリマス、併シ大久保銀行局長ガ御出席デアリマス、ソレカラ司法ノ方ハ川崎政務次官ガ出席デアリマス、ソレカラ長島局長ガ常ニ應酬ニ當ラレタノデアリマスガ、昨日來風邪デ發熱致シマシテ、今日ハ休養デ出院ガアリマセス、其代リ説明ニハ司法書記官森田豐次郎君ガ御出席下サイマシタ、説明員トシテドウゾ御聽キヲ願ヒタイト思ヒマス、此段豫メ御願ヒ致シテ置キマス

○板谷委員 此法案ハ不動産ノ金融ヲ圓滑ニスルト云フ趣意カラ出テ居ルノデアリマシテ、吾々ハ此點ニ對シテハ決シテ反對スル者デハアリマセス、併ナガラ債權者債務者兩方面カラ觀察ヲシテ成ベク公平ナルモノニシタイ、又政府ノ申サレマスル通リニ、初メテ試

ミル新シイ法律デアリマスルカラシテ、成ベク慎重ニ慎重ヲ重ネテ出來ルダケ研究ヲシタイ、斯ウ云フ趣意ニ於キマシテ、質問應答致シテ居ル次第デアリマス、併ナガラ委員長ハ只今成ベク早く之ヲ完結スル、勿論吾々モ其點ニ付テハ同感デアリマスルケレドモ、新シイ試デアリマスルカラ、質疑ノアリマスル所ハ、十分ニ一ツ御許シヲ願ヒタイ、既ニ本日決定シテ、明日ハ本會議ニ上程スルト云フ御話デアリマスルケレドモ、併ナガラ只今御話ニ依レバ長島民事局長或ハ大藏政務次官ハ御出席ニナラヌ、今私ガ質問セントスル事柄ハ、最も重要ナ問題デアリマス、只今御出席ニナツテ居ル政府委員ヲ、私ハ不十分ト申ス意味デハナイノデアリマスケレドモ、若シ此質問ニ對スル御答辯ガ不満足デアルト致シマシタナラバ、重ネテ最も責任アル所ノ政府委員ノ御出席ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス

○荒川委員長 御答致シマス、御意見

付託議案

抵當證券法案(政府提出)
不動産登記法中改正法律案(政府提出)
民事訴訟法中改正法律案(政府提出)
競賣法中改正法律案(政府提出)
民事訴訟用印紙法中改正法律案(政府提出)
日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)
農工銀行法中改正法律案(政府提出)
北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)
國稅徵收法中改正法律案(政府提出)
貯蓄銀行法中改正法律案(政府提出)
無盡業法改正法律案(政府提出)

ノ通り、最初ノ試ミデ又重要ナ法案デアリマスカラ、十分ニ審議ヲシテ諒解ヲ願フト云フコトハ、豫ネテ希望致シテ居リマスシ、滿場委員諸君モ亦眞摯熱心ニ之ヲ審議シテ下サツタコトハ、前六回ニ互フテ會議ノ模様ニ於テモ、深ク委員長トシテモ感謝シテ居ルノデアリマス、尙ホ質疑殘リモアルカト云フヤウナコトハ致シマセヌ積リデアリマス、唯併シ成ベク進行スル積リデ御審議ヲ願ヒマス

○板谷委員 私ハ先ヅ第一ニ伺ヒタイト思ヒマスコトハ、先般來カラ色々質疑應答ヲ重ネテ居ルノデアリマスガ、マダ私ハ腑ニ落チマセヌノデ、重ネテ此點ニ付テ能ク伺フテ見タイト思フノデアリマス、其點ハ從來土地所有者ガ金ヲ借りタ場合、例ヘバ個人カラ一割二分デ借りテ居ッタ、ソレヲ更ニ此抵當證券ノ發行ニ依ッテ其個人ガ普通銀行カラ一割デ借りタ、又普通銀行ガ金融ノ關係ニ於テ、勸業銀行カラ八分デ借りタ、此場合ニ於キマシテ、段々利子ハ安クナツテ行ク、安クナツテ參リマスケレドモ、併ナガラ債務者ニ於キマシテハ、依然トシテ一割二分ノ利子ヲ拂ハナケレバナラヌト云フコトデア

ル、此點カラ考ヘテ見マス云フト、抵當證券ヲ發行シタガ爲ニ、債權者側ハ相當ノ利益ヲ得マスケレドモ、債務

者即チ土地所有者ニ於テハ何等益スル所ガナイノデアリマスカラ、之ヲ緩和スル意味ニ於キマシテ——私ハ獨逸、瑞西ニ於ケル外國ノ例ノ抵當證券ノ條文ヲ讀ンデ見マスルト、此瑞西、獨逸ハ大體ニ於テ抵當證券ハ土地所有者ニ交付スルト云フ原則ニナツテ居リマスケレドモ、但シ債務者及土地所有者ノ同意アルトキハ債權者、又ハ其代理人ニ之ヲ交付スルコトガ出來ル、即チ土地所有者並債權者兩者ニ對シテ此證券ト云フモノハ交付サレルト云フコト

ニナツテ居ルノデアリマスガ、今私ノ申上ゲマシタ債務者ガ長期ニシテ低利ノ資金ヲ借替スルト云フ便宜ヲ得ル上ニ於キマシテハ、ドウシテモ此土地所有者ニ對シテモ債權者並利害關係者ノ同意ノアツタ場合ニハ、之ヲ交付スルト云フコトデアルナラバ、最モ公平ノヤウニ考ヘルノデアリマスルガ、此點ニ對シテ大藏當局、並司法當局ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ、先ヅ此點ヲモウ一遍確メテ置キタイト思ヒマス

○大久保政府委員 先般來板谷サンノ其點ニ關シマスル御質問ハ、私能ク諒解致シマシタ次第デスガ、今日改メテ土地所有者ノ方ニモ交付スルヤウニシタラバドウカ、斯ウ云フ風ナ御意見ノヤウニ今承リマシタ、此抵當證券ノ法

制上ノ建前ニ付キマシテハ、大分長イ間研究ヲ致シテ見マシタガ、各國ノ例ノ中ニ付キマシテモ、今御舉ゲニナリマシタヤウナ點ハ、割合ニ直接ノ御參考ニナルカト思フテ御手許ニ差上ゲマシタ次第デアリマスガ、色々調ベテ見マス、中々是ハ法制上色々難問ガアリマスシ、吾々ノ方デハ今仰セノヤウナ例ハ、ドウシテモ採リ難イ、現在ノ日本ノ法制ニ大體ニ於テ手取早ク採用シ得ル點ヲ究メマシテ、此案ガ出來タノデアリマス、更ニ仰セノヤウナ根本

的ノ問題ニナリマス、今ノトコロドウモ現在ノ法制デハ、非常ニ困難デアルト云フヤウナ趣旨カラ、ソコマデハ考ヘナカッタ次第デアリマス

○板谷委員 ドウモ段々質疑應答ヲ重ネテ居ル間ニ、私ハ一層疑義ガ深クナルヤウナ感ジガ起ルノデアリマスガ、要スルニ此法案ガ從來普通銀行ガ不動產ヲ擔保ニシテ金ヲ貸シテ居ッタ、ソレガ固定シテ洵ニ困ッテ居ル、其銀行ガ例ヘバ勸業、或ハ農工、拓殖銀行ニ持ッテ來タ場合ニ於キマシテハ、此法制宜シイト思フガ、併ナガラ個人ニモ之ヲ廣ク流用スルト云フノガ第一ノ目的デアルト云フコトヲ、屢々答辯セラレテ居リマスケレドモ、今御話スルヤウニ個人、即チ債務者並所有者ノ立場カラ行キマシタナラバ、成ベク長期

ニシテ安イ金ニ借換ヘスル機會ヲ與ヘテヤラナケレバナラヌ、其點ニ於テ私ハ寔ニ缺ケテ居ルト思フ、今大久保サンノ御答辯ハ法制上困難デアルト云フヤウナ御話デアリマスケレドモ、是ハ政府ノ御都合デアアル、要スルニ國民經濟ヲ立テル上ニ於キマシテ、先ヅ第一ニ土地ノ所有者及債權者、此兩方面ヲ保護スル上ニ於キマシテ、土地所有者ガ借換ヘスル便宜ノ上ニ於テ抵當證券ノ發行ヲスルト云フコトハ、都合ガ好イト云フコトデアリマスナラバ、其趣意ニ於テ案ヲ御立テニナルノガ當然デヤナイカト私ハ思フ、此點ヲモウ一遍伺フテ置キタイ、法制上困難ト云フノハ、ソレハアナタ方ノ御都合デア

ツ、吾々ノ主張スル所謂土地ノ所有者、債權者ト云フ兩方面カラ觀察シテ、案ノ立テ變ヘラシテ貰ヒタイ

○大久保政府委員 法制上ノ事柄ニ付キマシテハ、私ガ進ンデ是以上ニ説明申上ゲマスコトハドウカト、實ハ考ヘテ居リマスガ、法制上ノ都合ハ是ハ重大ナ困難ナノデアリマス、打明ケテ總テ私ハ申上ゲテ居ル次第デアリマスガ、獨逸ノ民法、瑞西ノ民法ト日本ノ民法トハ大體ニ於テ違ッテ居ル點モ可ナリアリマスコトハ、此間民事局長カラ御説明申上ゲタ通りデアリマシテ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ吾々司法省

場カラ行キマシタナラバ、成ベク長期

大藏省關係者が長イ間審議ヲ致シタ次第アリマス、無論吾々ノ方ノ都合ト云フ意味合ハ、吾々名案ヲ考ヘルニ於テ頗ル不十分ダト云フ點ニ於テハドウモ已ムヲ得マセスケレドモ、吾々出來ルダケ能ク研究ヲ致シマシタ、仰ヒノ趣旨ハ出來ルダケ此不動産ノ利用ヲ圓滑ニシテ行キタイト云フ御趣旨ニ於テハ御尤モナコトデアリマス、斯ウ云フ風ナ案ハドノ程度迄ウマイ案ヲ出セルカト云フコトニ付テハ、及バズナガラ關係者ニ於テ非常ニ練リニ練ッテ注意ヲシマシタ次第アリマスガ、如何ニシテモ法制上ノ立前ハ中々難儀デアリマシテ、今日ノ所迄行キマスニモ、相當研究致シタ次第アリマス、今仰セノヤウニ根本的ノ案ニ付キマシテハ、法制上ノ立前ガ餘程難儀ニナリマスカラ、只今ノ所登記制度、銀行制度ノ根本ニ付テハ、獨逸及瑞西ト必シモ同一デナイモノヲ、ソコ迄進ンデ同一ニシテ行クト云フ程ニハ、マダ考ヘテ居ラス次第アリマス、現在ノ法制上如何ニ不動産金融ガウマク行ハレテ行クカ、ソレニ付テハ此程度ノ改正ヲヤラウト云フコトニ結局ナリマシタ次第デアリマス、只今御言葉ノ中ニ債權者ト債務者ヲ、出來ルダケ便宜ニシテ行カフト云フヤウナ御趣旨デアリマシタガ、ソレハ吾々モサウ致シタイト思ヒマスガ、今日ノ法制ニ付テハ債權者バカリノ便利デアルデ、債務者ニ便利デハナイト云フ御趣意デハナイト、無論拜察致シマスガ、私等ノ方ニ於テモ結局此不動産金融ト云フモノハ、良ク行ハレルト云フコトハ、土地所有者換言スレバ債務者ニナルベキ人間、此方面ノ人達ノ利益ニナル、債權債務ノ關係ハ度々今迄ニ繰返シテ申上ゲマシタ如ク、債權者バカリヲ便利ニシテ債務者ノ關係ガ圓滑ニ行カフトハ思ヒマセヌ、又債務者ノ方バカリ優越ナル地位ヲ占メテ居テハ、是亦ウマク行クモノデヤナイト思フ、債權債務ト云フモノハ、見方ハ無論違ヒマスガ、要スルニ是ガ圓滑ニ行クト云フコトハ、債權者債務者兩方ノ立前カラ參ルコトデアリマシテ、今日ノ此立前ガ現今ノ民法及登記法ノ關係カラシテ、斯ウ云フ制度ガ立テ易イ、此程度デ行クノガ今ノ日本ノ法ノ上カラモ、理窟付ケ易イト云フ風ナ趣旨カラ出發シテ居リマス、敢テ債務者ノ方ニドウ斯ウト云フ趣旨デハナカッタノデアリマス、出來ルダケソチヲノ方モ便宜ニ行クヤウニ、要スルニ不動産金融ハ全體ニ圓滑ニ行クヤウニシタイ、斯ウ云フ風ナ趣旨カラ出テ居リマス、其點ハ度々ノ機會デ申上ゲマシタカラ、其事情ヲ御諒承願ヒタイト思フノデアリマス

○板谷委員 遺憾ナガラ御答辯ガ不明瞭デアリマス、私ノ申上ゲルノハ不動産金融ヲ圓滑ニスルト云フ趣旨カラシテ、此法案ガ出來テ居リマスカラ、即チ債權者債務者兩方面カラ觀察シナケレバナラス、其點ニ付テ私ガ力說致シテ居リマスコトハ、此證券ガ發行サレテ將來ニ於テハ、輾轉ヲスルト云フ點ニ付テ、土地所有者ノ幾部分ハ低利ヲ借リル機會モアリ、多少利益モアラウガ、現在今非常ニ困ッテ居ル六十二億ノ不動産抵當債務ノ中ノ十二億ハ、勸銀、農工、拓殖デアル、アト五十億ヲ今ノ長期ニシテ低利資金ヲ借入レナケレバナラヌト云フ、是ガ重大ナル問題デアアル、此重大ナル問題ノ解決ト云フコトニ付テハ、今私ノ御話シタ土地ノ所有者ガ、長期ニシテ低利資金ヲ借入レル機會ヲ與ヘルト云フコトハ、ドウシテモ所有者ニ對シテモ、債務者ノ同意ノアツタ場合ニ於テハ、抵當證券ヲ交付スルト云フ此條件ガ必要ダト思フ、今法制上困難デアルト云フ御話ガ縷々アリマシタガ、之ヲ所有者ニ交付スルト云フコトニ付テ、ドウ云フ不便ガアリ、ドウ云フ不都合ガアルカ、其點ヲ能クハッキリ御答辯ヲ願ハヌト、私ハ了解シ兼ねルノデアリマスカラシテ、司法當局モ居ラル、コトデアルカラ、之ヲ若シ所有者ノ請求ニ依ッテ交付スルト云フコトガ出來ナイト云フ理由、ソレヲ一ツ明瞭ニ仰シヤッテ戴キタイ

○森田司法書記官 私ハ獨逸ノ制度ハ餘リ詳シク存ジマセヌガ、日本ノ抵當權制度ヲ其儘置キマシテ、サウシテ證券化スルナラバ、今法案ニ出來上ッタ方法ヨリ他ニ穩當ナ方法ハナイノデアリマス、勿論抵當證券其モノ、制度ヲ改正スト云フコトナラバ、獨逸ノト同ジヤウニスルコトガ出來ルカモ知レマセヌガ、日本ハ抵當權ノ制度ニ於キマシテ獨逸ノ民法ヨリモ離レタ制度デ、今マデヤッテ居ルノデアリマス、之ヲ俄ニ獨逸ノ制度ニ變ヘテシマフト云フコトハ、是ハ非常ニ研究スベキ問題デアリマス、將來ニ又サウ云フコトニナルカモ知レマセヌガ、只今急ニ抵當證券ヲ出スト云フコトニスレバ、日本ノ抵當權制度ノ上デハ是レダケヨリ出來ナイノデアリマス、ソレニ付テ考ヘマシタ結果、獨逸デ抵當證券ヲ所有者ニ出スノハ、日本ト抵當權ノ根本ノ觀念ガ違ッテ居ルヤウニ記憶シテ居ルノデアリマス、日本デハ債權債務ガ確定致シマシテ、サウシテ抵當權ノ登記ヲスルノデアリマスカラ、其登記ノアル證券ヲ出シマス場合ハ、必ズ是ハ債權者ニ渡サナケレバナラス、債務者デアアル所ノ土地ノ所有者ニ渡サナイト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレハ

既ニ債權債務ガアリマシテ、債權者ト云フモノガ茲ニアリマシテ、抵當權ガ設定サレテ居リマスカラ、此抵當權ニ付テ證券ヲ出スヤウニスルノニハ必ズ債權者ノ申請ニ依ッテ、債權者ニ渡サナケレバナライコトニナルデアリマス

御イデニナリマスガ、司法次官ハドウ御考ニナリマスカ

○川崎政府委員 私今ノ質問應答ヲ承ッテ居リマシタガ、獨逸ノ法制ト、日本ノ民法等ノ建前ガキマツテ居ル、建前ガキマツテ居ル爲ニ、此抵當法ダケヲ特ニ獨逸ノ法制ノヤウニヤレナイト云フコトガ、今説明員ノ申上ゲテ居ル點

○板谷委員 ドウモ分ラヌ、甚ダ失禮ナ申分デアルケレドモ、私ノ質問ノ要點ニ觸レテ居ラスト思フ、ナゼ其所有者ニ出スコトニ付テ不都合デアルカ、ドウ云フ缺陷ガアルカ、之ニ付テ私ハ御尋シテ居ルデアアル、要スルニ現在ノ債務者ヲ保護スル長期ノ低利資金ニ借換ヲスルト云フコトニ付テ、債務者即チ土地所有者ヲ保護スル上ニ於テ、私ハヤハリ所有者ニ對シテモ發行スルノガ當然デハナイカト思フ、獨逸ハ私ハ唯例ヲ申上ゲタニ過ギナイ、獨逸ニ於テハ所有者ニ出スコト云フコトガ原則ニナツテ居ルケレドモ、場合ニ依ッテハ債權者ニ出スコトモ出來ルト云フ兩方面ニナツテ居ル、デアアルカラ日本ニ於キマシテモ、原則トシテ、土地所有者ニハ發行スル、又場合ニ依ッテハ債權者ニ發行スルト云フ兩方面ノ取扱ニシテ宜イ譯デアアル、然ルニ土地所有者ニ對シテ出スコトガ出來ナイト云フコトニ付テハ御答辯ハ、私一向ニ要領ヲ得ナイデアリマスガ、司法次官モ

デアアル、私ハ此質問ノ御趣旨ヲ途中カラ承ッタノデ、能ク分ラヌデアリマスガ、是ハ專門的ノコトデアリマスカラ、此專門的ノ問題ハ森田君ガ此法ヲ專門的ニ起案ヲシタ一人デアリマスカラ、細カイコトハ私ヨリ森田君ニ御問ニナル方ガ、御分リニナル譯デアリマス、勿論其責任ハ私ガ負ヒマスガ、細カイ法制ノコトニ付テハ、私ヨリモ專門ノ森田君ノ説明ヲ御聽キ下サルコトニ御願ヒシタイト思ヒマス

○板谷委員 司法次官ガ御分リニナラヌナラバ、クドイヤウデアリマスガ、又之ヲ重ネテ申上ゲナケレバナラヌ、吾々ガ本案ヲ修正シナケレバナラヌ重點ハコ、ニアルデアリマスカラ、之ヲモットハッキリ質問應答ヲ御許シ願ヒタイト思ヒマス、即チ此法案ガ債權者竝ニ債務者兩方面ヲ保護スルト云フ趣意デアルト云フコトニ付テハ、先日來政府委員モ度々此質問應答中ニ言明セラレテ居ルデアリマスガ、今我國

ニ於ケル重大ナ問題ハ、舊債ガ短期デアツテ高利デアアル、之ヲ如何ニシテ長期ノ低利資金ニ借換ヘスルカト云フコトデアアル、此趣意カラ申シマスナラバ、例ヘバ從來土地所有者ガ、個人カラ一割二分デ借りテ居ッタ、ソレヲ更ニ其個人ガ所謂債權者ガ金融ノ都合デ、普通銀行ノ一割ノ低利資金ニ借換ヘタ、其又普通銀行ガ資金ニ困ッテ、更ニ勸業銀行カラ八分デ借りル、債權者ノ立場ハ段々低利ニ借換ガ出來マスケレドモ、債務者側ニ於テハ依然トシテ、個人カラ借りタ一割二分ノ利子ヲ拂ッテ行カナケレバナラヌ、又抵當證券ヲ一旦發行シタル以上ハ、土地所有者ガ、低利ニ借換ヘル機會ガナイ、是デヤ不公平デアアル、ダカラ土地所有者ガ債權者ノ同意ガアッタ場合ニ於テハ、所有者ニ於テモ申請スルコトガ出來ル、是ガ最モ公平ナヤリ方デハナイカト、斯ウ云フ意味ニ於テ質問ヲシテ居ルデアリマス、所ガ獨逸ノ例ハ成程、獨逸ハ或ハ債權者、所有者ニ發行シテ居ル關係モアリ、獨逸ノ法律ガサウナツテ居ルカドウカト云フコトハ、是ハ外國ノ關係デアアルガ、日本ハ日本ノ建前トシテ所有者ヲ保護スル上ニ於キマシテ、サウ云フ方法ヲ執ルベキ筋合ノモノデハナイカ、之ヲ執ラヌト云フコト

ニ付テ、ドウ云フ不便ガアリ、ドウ云フ不都合ガアルノデアアルカ、ソレヲ私ハ伺ッテ居ルデアリマス

○川崎政府委員 板谷君ノ御質問ニ對シテ私カラ御答辯申上ゲマス、只今ノ御質問ノ御趣意ハ二點ニ分レテ居ルト思ヒマス、第一點ノ方ハ、大藏省ノ政府委員カラ答辯セラレタト思ヒマスケレドモ、更ニ其意味ヲ私ハ敷衍シテ申上ゲテ見タイト思ヒマス、只今板谷君ノ御質問ノ御趣意ハ、個人ガ一割二分ノ金利デ金ヲ借りテ居ッタ、其金ヲ今度ハ抵當證券ヲ發行シタガ爲ニ、抵當證券化シタル結果トシテ、勸業銀行ナリ農工銀行ナリガ其抵當證券ニ依ッテ又一割デ他カラ金ヲ借りタ、ソレカラ又第三番目ノ抵當證券所有者ハ八分デ金ヲ借りタ、斯ウ云フ場合ガアルトスルナラバ、成程債權者側ノ方ハ利益ヲ得ルケレドモ、債務者ハ依然トシテ一割二分ノ高利ヲ拂ハナケレバナラヌト云フノデ、何等利益ヲ受ケナイノデアアル、斯ウ云フ御質問ノ御趣意ダッタト思ヒマス、成程サウデアルト思ヒマスガ、結論カラ申シマス、抵當證券ト云フモノガ發行セラレタコトニ依ッテ、金融ガ圓滑ニナツテ、サウシテ今迄固定シテ居ッタ不動産金融ガ、證券化セラレルコトニ依ッテ融通ガ滑カニナル結果、債權者ハ安イ金利ノ金ヲ借りルコトガ

ニ於ケル重大ナ問題ハ、舊債ガ短期デアツテ高利デアアル、之ヲ如何ニシテ長期ノ低利資金ニ借換ヘスルカト云フコトデアアル、此趣意カラ申シマスナラバ、例ヘバ從來土地所有者ガ、個人カラ一割二分デ借りテ居ッタ、ソレヲ更ニ其個人ガ所謂債權者ガ金融ノ都合デ、普通銀行ノ一割ノ低利資金ニ借換ヘタ、其又普通銀行ガ資金ニ困ッテ、更ニ勸業銀行カラ八分デ借りル、債權者ノ立場ハ段々低利ニ借換ガ出來マスケレドモ、債務者側ニ於テハ依然トシテ、個人カラ借りタ一割二分ノ利子ヲ拂ッテ行カナケレバナラヌ、又抵當證券ヲ一旦發行シタル以上ハ、土地所有者ガ、低利ニ借換ヘル機會ガナイ、是デヤ不公平デアアル、ダカラ土地所有者ガ債權者ノ同意ガアッタ場合ニ於テハ、所有者ニ於テモ申請スルコトガ出來ル、是ガ最モ公平ナヤリ方デハナイカト、斯ウ云フ意味ニ於テ質問ヲシテ居ルデアリマス、所ガ獨逸ノ例ハ成程、獨逸ハ或ハ債權者、所有者ニ發行シテ居ル關係モアリ、獨逸ノ法律ガサウナツテ居ルカドウカト云フコトハ、是ハ外國ノ關係デアアルガ、日本ハ日本ノ建前トシテ所有者ヲ保護スル上ニ於キマシテ、サウ云フ方法ヲ執ルベキ筋合ノモノデハナイカ、之ヲ執ラヌト云フコト

ニ付テ、ドウ云フ不便ガアリ、ドウ云フ不都合ガアルノデアアルカ、ソレヲ私ハ伺ッテ居ルデアリマス

出來ルノデアリマスカラ、其結論カラ
遡ッテ、ヤハリ債務者ニ對シテモ今度
ハ金利ヲ負ケル場合モ私ハ出來テ來ル
ダラウト思ヒマス、サウ云フ場合ガ生
ジテ來ルコトガ、此抵當證券ノ趣意デ
ヤナイカト思ヒマス、今迄ナラバ抵當
權ハ固定シテシマッテ、融通ノ途ガナ
カラ、ソレハ高イ金利デナケレバ仕方
ガナカッタノガ、今度ハ安イ金利デ輾轉
シテ行ク結果ハ、遡ッテヤハリ債務者
ノ利益ニナルヤウナ方法モ私ハ付クダ
ラウト思ヒマス、ソコガ此證券發行ノ
狙イ所デヤナイカト思ヒマス

ソレカラ第二ノ御問ノ御趣旨ハ土地
所有者ニ對シテハ、私ハ獨逸ノ民法ハ
能ク承知シマセスガ、今ノ說明ニ依
テモ建前ガ違フノデアアル、ト云フノハ
日本ノ行キ方ハ豫メ抵當權ヲ設定スル
前ニ、債權債務ノ關係ガ明カニナッテ
居ッテ、サウシテ抵當權ヲ設定スル、
サウスルト、今度ハ抵當權ヲ設定シタ
結果、債權者ニ抵當權ヲ設定シタ證書
ガ渡サレル、斯ウ云フコトニナッテ居
ッテ、土地所有者ノ方ニハ渡サナイヤ
ウニナッテ居ルカラ、其處ノ點ハ建前
ガ違フカラ、ドウモ土地所有者ニ對シ
テ特ニ便利ナ法制ノ布カレテ居ル獨逸
ノヤウニハ行カナイト云フノガ、説明
員ガ申上ゲタ趣意デアラウト思ヒマ
ス、ソレハドウ云フ風ニスレバ土地所

有者即チ債務者ノ爲ニ利益ニナル仕組
ニ、法制ガ出來ルカト云フコトハ、一ツ
研究スベキコトデアリマスガ、其處ニ
不便不利ガアルト云フノデ、此法制ノ
ヤリ方ガイケナイト云フノテラバ、ソ
レハドウ云フ風ニスレバ宜イト云フコ
トハ私ニハ今直グ其案ガ立チマセヌ
ガ、其趣意デアラウト存ジマス

○板谷委員 司法政務次官ガ、ドウモ
研究シテ見ナケレバ案ガ立タヌト云フ
コトデアリマスレバ、吾々ハドウシテ
モ、債務者モ或ル程度マデ保護スルト
云フ意味ニ於テ、低利資金ヲ借換ヘル
機會ヲ與ヘルト云フコトハ當然デアラ
ウト思ヒマスカラ、更ニ御尋シテ見タ
イト思ヒマスガ、此點ハ植原君ガ關聯
シテ御發言ニナルサウデアリマスカ
ラ、私ハ一寸止メテ置キマスガ、御研
究ニナッテ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス

○植原悦二郎君 關聯シテ居リマスカ
ラ、委員長ノ御許シヲ願ヒタイ
○荒川委員長 之ニ關聯シテ急グ方ハ
アリマセスカ——ソレデハ委員外ノ植
原悦二郎君ニ、之ニ關聯シタ範圍ニ於
テ質疑ヲ許シマス

○植原悦二郎君 是ハドウカ政府當局
ニ於テモ、議論スル積リデナク、政府
ヲ信ジテ、苦メルト云フ趣意デナイコ
トヲ能ク御諒解ヲ願ッテ御答辯ヲ願ヒ

タイト思ヒマス
先刻カラ同僚板谷君ガ御質問ニナッ
タ事ハ、債務者ニ證券ヲ發行スルコト
ヲ申請スルコトヲ許スコトガ、何故我
國ノ法制上出來ナイカ、斯ウ云フ簡單
ナ質問デアッタノデス、獨逸ノ例ハ、唯
例ニ出シタダケデアリ、獨逸ハドウデ
アラウト、サウ云フ事ハ構ハナイ、此
法制ノ建前ニ依リマスレバ、金融業者
ノ利益ノアルコトハ明瞭デアアル、ソレ
カラ不動産ガ證券化シテ、金融市場ニ
出ルコトモ、之モ明瞭デアアル、併シ不動
產抵當品デアアルニ拘ラズ、抵當品ノ有
無ヲ問ハズ、不動産全體ヲ證券化スル
ト云フコトナラバ別ノ問題デアリマ
ス、我國ノ不動産全部ヲ證券化スルコ
トナラバ是ハ問題ハナイケレドモ、此
法律ハ、抵當品ダケヲ商品化スルコト
ニナッテ居リマスカラ、ソコニ非常ニ問
題ガ起ッテ來ル、サウスルト抵當品ダケ
ヲ商品化スルコトニナッテ、唯債權者
ノミガ之ヲ證券化スルト云フコトニナ
リマスレバ、債權者ハ、成程勸業銀行
ヘ持つテ行ッテ、一分ノ安イ低利ヲ借リ
ルコトモアル、場合ニ依ッテハ、其債務
者ガ借リテ居ルヨリモ二分三分ノ安イ
金ヲ借リルコトガ出來マセウ、ソレハ
其便利ハ認メマス、併シ假ニ債權者ガ
承知シテ、宜シイ、アナタハ何處カラ
デモ金ヲ借リテ來テ、私ノ方ヘ返シテ

吳レルナラバ宜シイカラ、何處カ安イ
金ガアッタラ借リテ私ノ方ヘ持つテ來テ
御返シナサイト云フ、斯ウ云フ場合モ
世ノ中ニハアルコトデアアル、其場合ニ
債務者ガ債權者ノ承諾ヲ得テ肩換リ
ヲスル間證券ヲ發行シテ、サウシテソ
レヲ持つテ行ッテ返シテシマヘバ濟ムヤ
ウナ場合モ起キナイトハ限ラナイ、ソ
レダカラ之ハ我國ノ法制ノ建前トシテ
モ、出來ナイコトハナカラウ、デア
カラ若シ債務者ガ證券ヲ發行スルコト
ヲ申請スル場合モ、債務者ノ持つ證券
ハドウ云フ證券カト云ヘバ、債務者ニ
取ッテハ其抵當物權「マイナス」債權額
ダケノ證券ト同ジ性質ニナリマス、併
シ證券其モノトシテハ、或ル場合ニ於
テハ債權者ノ承知ニ依リテ債權ガ含マ
レテ居ルカラ、全部ノ物件ヲ證券化ス
ルコトニナリマス、サウシテ債權者ガ
持つテ居ルモノハドウ云フ價值ノモノ
ニナルカト言ヘバ、サウ云フ價值ノモ
ノニナッテ、事實ハ不動産全部ヲ證券
化サレテ居リマスケレドモ、債務者ガ
持つテ居ル間ハドウ云フモノニナルカ
ト云ヘバ、サウ云フ形ノモノニナリマ
セウ、債務者ガ持つテ居レバ債權額「プ
ラス」其擔保額ニナル、若シ債務者ガ
持つテ居ル場合ニハ、其設備ヲ拂ハナ
イデ、持つテ居ルコトニナリマスガ故
ニ、債務者ガ證券ヲ持つテ居ル權利ハ

ドレダケアルカト云へバ、其物權「マ
イナス」證券ト云フコトニナリマス、
勿論其證券ハ不動産全體ニ對スル證券
デアルコトハ明カデアリマス、ソレヲ
債務者ノ申請ニ依ッテ發行スルコトニ
スレバ、極メテ兩者ノ便宜ニナルデヤ
ナイカ、此問題ヲ御研究爲スツカ、爲
サラナケレバ爲サラナイデ宜シイ、若
シ爲スツタトスレバ、故障ガドウ云フ所
ニアツテ、是ガ出來ナカッタカ、爲サラ
ナカッタモノトスルナラバ、之ヲスル方
ガ兩者ノ爲ニ便宜デヤナイカ、又一般
ニ對シテ、債權者金融業者バカリノ保
護ダト云ハレルコトモナク、サウスレ
バ實際ノ、眞ニ不動産ヲ證券化スルヤ
ウナ意味ニモナルカラ、是ハ如何デア
リマスガ、決シテ政府ヲ非難攻撃スル
譯デハナク、私共ハ事ノ真相ヲ質シ
テ、行ケルカ行ケナイカ行ケルナラバ
此途ヲ開イタラ宜イト思フ、此點ニ付
テハ、民政黨ノ方モ御異存ハナカラウ
ト思フ

○篠原委員 前回ニ私ハ大體ノ質問
ヲ「システム」ノ上カラシタノデアリ
マスケレドモ、私共ハ遠慮シタラ宜イ
ダラウト云フコトデアッタカラ遠慮シ
タノデスガ、其點ハ日本ノ抵當權ノ根
本ノ考ヲ變ヘルノガ宜イカ、惡イカト
云フコトハ、司法省ノ法制ノ立場カ
ラ、抵當權ノ成立ノ登記ヲスルガ宜イ

カドウカト云フ、從タル觀念ヲ變ヘタ
ラドウカト云フ、其處マデ法制上行ク
考デセウガ、今ノ政府委員ノ説明ヲ承
ツテ居ルト、債權ニシテ讓渡シテ圓滿
ニシタラ宜イ、言換ヘレバ物權ノ賣買
ニ依ッテ、植原サンノ御話ノヤウニ、土
地ノ價額カラ債權額ヲ引イタモノ、證
書ヲ發行スルト云フ御話デアリマス
レドモ、獨逸ノ所謂「ヒポテークン・ブ
リーフ」ノ方ハ、土地全體ノ價額ヲ證
券ニシテ、其抵當權デ金ヲ借ルト云フ
譯デナク、抵當權ノ賣買ニ依ッテ金融
ヲ付ケルト云フ「システム」ト、債權ニ
抵當權ヲ付ケタ制度ニシテ、サウスレ
其債權ノ完全サヲ保タシテ流通サスガ
宜イト云フ「システム」ノ二ツガアリマ
スガ、其二ツノ何方ガ宜イカト言フ
ト、現狀ノ日本ノ抵當權ノ制度ヲ餘リ
動カサナイデヤラウト云フノデスカ
ラ、債權ヲ擔保スルコトニ依ッテ、一
遍安全ニシタ債權ヲ輾轉サセヨウ、ソ
レニ抵當權ハ食ッ付モノニナツテ、寧ロ
抵當權ノ方ガ從タルモノデ行カウ、從
來ノ從タル物權ノ觀念デ行カウト云フ
考デ立案ニナツタモノト私ハ想像シタ
カラ質問ハ廢メタノデスガ、抵當權ノ
本質ニ關スル日本ノ從來ノ從タル物權
ノ本質論カラ、日本ノ登記主義トノ間
ニ調和ガ取レナイカト云フ御議論デア
ルト思フガ、其議論ヲ此處デスルヨリ

モ、板谷サンノ御質問ニナツタヤウナ
事柄ガ債務者ノ利ニナル、低利金融ガ
抵當證券デ出來ルノダト云フ御説明ニ
ナレバ、即チ自由ニ、後デ一旦ハ成立
スル、一旦ハ所有者ガ、債權債務ガ出
來テ、抵當權ヲ付ケテ、其抵當權デ「ブ
リーフ」ヲ出ス、其後ノ利益、言換ヘ
レバ、第一次ノ債務者ガ、金利ガ段々
下ツテ來タ時分ニ利益ヲ受ケルコトガ
出來ルカ、出來ナイカト云フ問題ノ解
決ガ付ケバ、板谷サンノ御質問ハ解決
ガ付クト思フ、ソレデ、抵當權ノ制度
ノ議論モ、是ハ御議論トシテ立派ナ御
議論ガ立チマセウガ、其次ノ債務者モ、
利益ヲ受ケルコトガ甚ダ薄イト云フ論
議ニ付テハ、此處デ大藏省ノ政府委員
ニ御尋ネ致シマスガ、債務者ガ輾轉シ
テモ、抵當證券ヲ第一次ニ抵當權ノ證
書ヲ出サセラレタ人ガ證券ヲ買取ッ
場合、言換ヘレバ讓渡狀ヲ讓受ケタ場
合デモ、其證券ハ消滅シナイノダカラ、
ソレヲモウ一遍質問シタラ、其利益ガ
第一次ノ債務者ニ歸屬スルコトガ出來
ルカ、出來ナイカト云フ問題ハ決ル

○大久保政府委員 只今板谷サンノ御
質問ニ關聯シテ植原サン、篠原サンカ
ラ御質問ガ出マシタガ、或ハ御答申上
ゲルニ多少區々ニナルカモ知レマセ
ス、其點ハ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス、抵當證券ノ法制ヲ編ミ出シマシタ
關係ニ付テハ、今マデノ質問應答ノ間
ニ度々申上ゲテ置キマシタノデ、或ハ
諄イコトニナルカモ知レマセヌシ、御
質問ノ要點デナイカモ知レマセヌガ、
此點ニ付テ質問ガ續キマシタ以上ハ、
或ハモウ少し申上ゲテ見タラト思ヒマ
スガ、其點ハ御許シテ願ヒタイト思ヒ
マス、板谷サンノ御質問ノ大體ハ、土
地所有者又ハ債務者ト云フ風ナモノニ
之ヲ許シタラドウカト云フヤウナ、御
趣旨ノヤウニ御見受致シマスガ、今マ
デ度々申上ゲテ居ル通りニ、債券ノ發
行ト云フコトニ付テハ色々考ヘテ見
ト、勿論サウ云フ風ナ方面モ考ヘラレ
ナイコトハナイノデアリマス、端的ニ
之ヲ申上ゲルト、不動産ニ對スル所謂
地券ミタヤウナモノヲ想像致シマスレ
バ、是ハ土地所有者自身ガ常ニ出ス譯
デス、ソレハソレヲ賣ルナリ、或ハ其
他ノ用途ニ供スルナリ、容易ニ行ケル
制度デアラウト思ヒマスケレドモ、其
地券制度ハ今日餘程重大問題デ、吾々
其處マデ考ヘテ居ラスト云フコトハ、
先般來申上ゲテ居ル次第デアリマス、
其點ハ御了承ヲ得テ居ルモノト思ッ
テ居リマシタガ、或ハ植原サンノ御質問
ノ趣意ガ、サウ云フ風ナ趣旨ニ關聯シ
テ居ルモノデアラナラバ、要スルニ土
地所有者、又ハソレガ金ヲ借りテ居ル
場合、債務者ガソレニ對シテハ自分ノ

土地ヲ表示スル證券、或ハ今ノ例カラ言ヘバ、其表示シテ居ル證券カラ、負擔シテ居ル所ノ債務額ヲ差引イタ残リノヤウナモノヲ、何カノ形デ出シ得ルナラバ、非常ニ便利デアルト云フヤウナ御話デアリマスガ、サウモ考ヘラレナイコトハナイト思ヒマスケレドモ、ヤハリ地券制度ト似タヤウナ精神ノヤウニ推測致シマスガ、曾テハ地券制度ト云フモノガ行ハレタ時代ガ勿論アリマスガ、今日ハ法制ノ建前ガ御承知ノ通り、總テノ登記制度デ第三者ニ對抗スルト云フコトニナツテ居リマスカラ、根本ヲ動カサナケレバ其制度ハ中々ムヅカシイノデアリマス、隨テ吾々ノ所デハサウ云フ風ナ所ハ只今考ヘテ居ラスト云フコトヲ、從前度々申シテ置イタ次第デアリマス、モウ一ツ此處ニ殘リマス場合ヲ、私共ノ頭デ想像致シマス、債務者又ハ土地所有者、サウ云フ風ナ方面ガ何時デモ利用ニ供シ得ル爲ニ、一ツノ抵當證券ミタヤウナモノヲ拵ヘテ置イタラドウカ、ソレハ宜イ實例デスケレドモ、諄ク法律的ニ申シマス、先般此處デ問題ガ出マシタヤウニ、ソレハ外國ニモサウ云フ例ガアルト云フコトヲ申シマシタガ、抵當權ト云フモノヲ一ツノ獨立シタル物權ト想像致シマシテ、サウ云フ風ナモノニ對シテ土地所有者、若クハ將來債務者ニナラウト云フ人間ガサウ云フ風ナ案ヲ頭ニ置キマシテ、其抵當權ヲ將來活用シタイト云フ趣旨ニ於テ、之ヲ以テ行ケバ、是モ一ツノ想像シ得ル案デアリマス、併ナガラ今日ノ日本ノ法制ハ擔保物權、要スルニ抵當權ト云フモノニ付キマシテ、從タル物權ト云フ規定以外ニ、今ノ便利ダト經濟上想像サレル法制ヲ認メテ居ラナイノデアリマス、必ラズ抵當權ノ存在ニハ、ソレニ主タル債權ガナケレバナラスノデアリマス、ソレデ想像的ノ債權ヲ將來ニ假設致シマシテ、ソレノ目標ニ此債權ノ抵當權ヲ設定シテ行クト云フコトハ、不可能デアリマス、ドウシテモ債權ト云フモノニ附隨スル一ツノ物權デアリマスカラ、債權無シニハ從タル物權ト云フモノハ存在ノ餘地ガナイ、隨テ其抵當權ト云フモノハドウシテモ債權ニ附隨シテ考ヘナケレバ出來マセズ、證券ト云フモノモ、其關係カラ起ツテ來マスカラ、前ニ考ヘマシタヤウナ案ノヤウニナルノデアリマス、此處ハ一ツ能ク其點ヲ御諒承ヲ願ヒマス、吾々モ御趣旨ノアル所ハ能ク分リマス、色色ノ外國ノ例モ考ヘ、又英米ノ法系ノ方ニモ及ズナガラ多少攻究致シテ見マシタ、此處ニ至ルニハ簡單ニ至ッタノデハナク、餘程長イ間練リマシタ積リデアリマス、其關係ハサウ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、先程板谷サンノ仰ヒ、及ビ植原サンノ次ノ仰セガ多分其處ニ關係ガアルヤウニ想像致シマスガ、全體ノ債務者ヲ、如何ニシテ早く負擔ヲ輕クスルカト云フヤウナ御趣旨ニ付キマシテハ、私共モ頗ル同感デアリマシテ、先程御舉ゲニナリマシタ通り、六十二億ノ現在ニモ存在シテ居リマス其中カラ、無論抵當證券等ハ想像シテ規定シテ居リマセス、財團トカ云フヤウナモノモゴザイマスカラ、ソレ等ノモノヲ差引イテ見マシテモ、尙且是ハ此間差上ゲマシタヤウニ、五十億近クノモノガアル譯デアリマス、ソレガ先程言ハレマシタ通り、抵當權ノ利用サレル部分ト、サレナイ部分ト約半々ニナツテ居リマスカラ、此半分ノ方面ニ付テモ、餘程考ヘナケレドナラスト云フコトヲ、申上ゲタ次第デアリマス、現在既ニ出テ居ルモノニ付テ、如何ニシテ之ヲヤツテ行ッタ宜イカト云フヤウナコトニ付テモ、吾々ハ頭ヲ悩マシテ居ル次第デアリマス、是ハドウシテモ、將來不動産金融機關ト云フモノハ、益、改善ノ途ヲ遂ゲテ行カナケレバナラスト云フ風ノ御趣旨ニ付テハ、全ク私ハ同感デアリマス、如何セン直ニ今此問題ヲ此處ヘ提供致シマシテ、何十億ト云フモノヲ一氣呵成ニ片付ケルト云フガ如キコトハ、事務當局ノ側カラ見マシテハ、中々サウ云フ名案ガ出ナイノデアリマス、併ナガラ是モ是非片付ケルヤウニシナケレバナラスト云フコトデ、勸業銀行法ニ改正ヲ加ヘマシタ、ソレハ抵當證券法ニ相並ンデ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、寧ロ是ヨリ手取早く、サウ云フ風ナ方法ニ依ッテヤリ得ルト云フコトヲ認メマシタ次第デアリマス、ソレニ致シマシテモ、先程板谷サンノ仰セノ通り、元ノ債務者ヲ何故早く救済シナイカト云フ御議論、勿論ソレハ漸次ニ色々ナ經濟上ノ働キデ以テ、其處マデ行キ得ルコトヲ希望シ、サウサセタイト思ッテ居リマスガ、今此法案ヲ前ニ置イテ、何故其モノ、利息ヲ下ゲルヤウニシナイカト云フコトニ付テハ、ドウモ今直ニ元々ノ元債務者ノ利息マデモ、直ニ變ヘ得ルト云フヤウナ案ニハナツテ居リマセヌ、其點ハ一面カラ見マスレバ、洵ニ遺憾デアリマスケレドモ、總テ成立シテ居リマス、債權、債務ノ狀態ヲ、而モ斯ノ如キ巨額ノモノヲ一寸ノ考ヘ方デ直グニ之ヲ改メルト云フコトハ、如何ニシテモ私ノ方ノ案カラ出マセヌカラ、御希望ノ點ニ付テハ、十分吾々モ同ジヤウナ目標デ居リマスケレドモ、如何センソレハ出來マセヌト云フコトデ、漸次ニサウ云フ風ノ方向ニ向ケタイト云フコトデ御答スルヨリ外

ニ途ガアリマセス

○植原悦二郎君 能ク御趣意ノコトハ

分リマシタ、私共モ全體ノ不動產ヲ證券化スルト云フコトハ、今中々行ハレナイカラ、ソレハ考慮ノ中ニ入レナカッタ、随テ次ニ考慮シタ問題ハ、ドウシテモ債權ト云フモノガ存在シナイ以上ハ、抵當證券ト云フモノハ成立タナイ、其爲ニ此案ガ出タノダ、御苦心ノ程ハ能ク分リマシタ、唯私共ノ問題トシテ居ル點ニ、ソレダケデハマダ御答ニナラナイノデアリマス、何故カナラバ、既ニ債權ヲ負ウテ居ル不動產デアラナラバ、抵當證券ヲ發行ガ出來ル性質ヲ帶ビテ居ルモノダト云フ、ソレナラバ債權者ガ同意シサヘスレバ、債務者ガ申請シテ之ヲ發行シタイケナイト云フ理由ニハナラナイデヤナイカト云フノデス、既ニ其物權其モノハ、債權ヲ負ウテ、抵當證券ヲ發行スベキ性質ヲ帶ビテ居ルモノダト云フ、ソレヲ此法案ニ依レバ、債權者ノミガ申請シテ、其證券ヲ發行シ得ルコトニナッテ居ル、然ルニ債務者ガ債權者ノ同意ヲ得テ申請スル場合、債務者デモ之ヲ發行スルコトハ、此抵當證券ノ根本ノ性質ヲ害スルコトハナイデヤナイカ、ソレガ何故出來ナイカ、其出來ナイト云フ理由ガアルナラバ伺ヒタイト云フノデス

○大久保政府委員 其點ニ付テ、先程

御答申上グタ積リデハ居リマシタガ、モウ一遍申上グマセウ、要スルニ債權ト、從タル擔保物權トハ相關聯シテ居リマスカラ、ソレデ債權者ハ出セルト、斯ウ申上グタ譯デアリマス、所ガ債務者ハ、何ガ故ニ債權者ト相談シテ出セナイカト云フ仰セデスケレドモ、債務者ハ既ニ持ッテ居ル抵當權ト云フモノハ債權者ノ擔保ニナッテ居ル譯デスカラ、債務者ガ出サウト思ッテモ、抵當權ト云フモノハ債權者ノ附隨ニナッテ居リマスカラ、今ノ仰セノヤウナコトハ、二番抵當ヲ拵ヘルカ、若クハ地券ト云フヤウナモノヲ想像シナケレバ、私共トシテハ理論上、直チニ此抵當證券ノ問題ハ出テ來ナイヤウニ思ヒマス

○植原悦二郎君 ソレ故ニ債權者ノ同

意ト云フコトガアル、債權者ノ同意ヲ經ナイデ發行スルノハイケナイガ、債權者ノ同意ヲ經レバ、宜イデハナイカ、ソレニ依ッテ一ツノ物權ガ證券化スルコトニナル、債權者ガ同意スレバ……ソレハ法制上ドウアラウトモ、根本ノ觀念トシテハ其方ガ債權、債務兩者ノ便宜ヲ得ル爲ニナルデヤナイカ、政治的ニ之ヲ考ヘルナラバ、私共ハ今迄ドウ云フ法制ガアラウトモ、獨逸デドウ云フコトガアラウトモ、サウ云フコトハ問題デナイ、今新シイ法律ヲ作ル場合デアアル、債權債務ノ兩者ガアルテ、初メテ茲ニ問題ガ起ルノダカラ、債權債務ノ兩者ニ對シテ公平ナ、而モ兩者ニ便宜ナコトヲ考ヘナケレバイケナイデヤナイカ、サウスレバ、債權者ノミニ申請ニ依ッテ發行ガ出來ルモノトセズシテ、債務者ト雖モ、債權者ノ同意ヲ得レバ發行出來ルト云フコトガ、極メテ兩者ニ便宜デアリ、金融ノ問題ノ根本ニモチヨットモ影響スルコトハナイデヤナイカ、却ッテ金融ヲ圓滑ナラシメル社會上ノ便宜ガアルデヤナイカ、斯ウ云フ御質問ナンデス

○大久保政府委員 今ノ御趣旨ノ事柄

ヲ私ガ諒解致シマス點ニ於テ、成程債權、債務ト云フ點カラ、サウ仰シヤルナラバ、債權者債務者均等ト云フコトカラ、兩者トモ出シ得ルト云フノガ公平ノヤウニ見エマスケレドモ、先程申シマシタ通り、法律ノ建前ガ、抵當權ト云フモノハ債權ニ附隨シタル物權ナシデアリマシテ、其點ニ付テ債務者ト云フモノハ、一旦抵當權ヲ債權者ノ爲ニ設定致シマシタ以上ハ、債務者トシテハ、幾ラ債權者ノ同意ヲ得テモ持合セガナイ譯ナンデゴザイマス、アナタノ御想像ノ事ハ、他ノ地券トカ、色々經濟上ノ問題ガアリマスカラ、アナタノ御想像ニ付テハ私モ無理カラヌ點ハ認メマス、併ナガラ如何ニシテモ法制上ノ建前ガ、既ニ抵當權ト云フコトニナッテ居リマスカラ、ソレハ持合セガナイ譯デアリマス、ソレデ遺憾ナガラ是ハ前申上グタヤウナ答辯デ、ヨリ以上ニ私實ハ案ガナイノデアリマス、併シ一步進ンデ經濟上ノ御議論トシテハ地券ヲ考ヘルトカ、何トカ云フコトニナレバ、又考ヘラレスコトモナイカモ知レマセスガ、先程カラ申ス通り、地券トカ云フ風ナコトニナリマスカラ、事頗ル重大デアリマシテ、今日デハソコマデ改正スルト云フヤウナ意思ハゴザイマセス

○板谷委員 只今大久保政府委員ハ、

想像シタル債權ニ依ッテ、所有者ニ抵當證券ヲ發行スルト云フコトニ付テ御話ニナリマシタケレドモ、私ノ方ハサウ云フ意味デハアリマセス、既ニ現在債權ノ附イテ居ル其モノニ對シテ、土地所有者ニ對シテ、ツマリ肩替リノ便宜ヲ與ヘルト云フコトニ付テ、債權者ノ同意ガアッタナラバ所有者ニモ許シタラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ意見デアス、併ナガラ此問題ハ重大ナ問題デアリマシテ、政府當局ニ於カレマシテモ、今一遍御考慮ヲ願ヒタイ、吾々ノ方デモ又更ニ研究シテ見マスカラ、是ハ暫ク保留シテ置キマス……

○荒川委員長 保留スルト云フノハド

ウ云フ事ヲ保留スルノデスカ

○板谷委員 政府ニ於テモ案ガ多イト言ハレル、吾々ノ言フ事ハ尤モデアルケレドモ、案ガ無イト云フ御話デスカ

○大久保政府委員 其點ダケニ付テ一寸御答ヲ許シテ戴キタイト思ヒマス、抵當證券ノ關スル限リニ於キマシテハ、今申上ゲマシタ通りノ趣旨デ吾々ハ進行致ス積リデアリマスカラ、其他ノ植原サンノ御話ニナッタ事、或ハ板谷サンノ御話ノ事ニ付テハ——私或ハ間違ッテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、今日抵當證券法ノ關スル限リニ於テハ、其他ノ案——例ヘバ地券トカ云フ風ナモノガ想像サレルヤウニ思ヒマスガ、サウ云フヤウナ事ニ付テハ、モウ考慮スル餘地ハ今ノ所ハゴザイマセスト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、是ハ保留ヲ御希望下サツテモ、此法案トシテハ、ソレヲ考慮スル立場デゴザイマセヌカラ、其點ヲ明ニ致シテ置キマス

○篠原委員 一寸先程私ノ質問シタ事ニ關聯シテ……元ノ債務者ガ證券ヲ取得シタ場合ニハ、其證券ハ消滅シマスカ、モウ一遍裏書ニ依ッテ讓渡ガ出來マスガ

○大久保政府委員 原債務者ガソレヲ買取りマシタ場合ハ、是ハ登記ヲ抹消

シテ宜カラウト思フテ居リマス

○篠原委員 抹消シナイデモウ一遍ソレヲ裏書シテ讓渡ガ出來マスカ、詰リ手形ノヤウニ行キマスカ、手形ハ申ス迄モナク振出人ガ買取ツタモノヲ、モウ一遍ソレヲ裏書シテ流通スルコトヲ認メテ居リマス、サウ云フ風ニ用ヒルコトガ出來レバ、其證券ハ一遍安イ利子ニナッタ證券デアリマスカラ、其安イ利子ノ利益ト云フモノヲ債務者ガ受ケルコトガ出來ルト思ヒマス、例ヘバ勸業銀行カラ其證券ヲ債務者ガ買ツテ來タ場合ニ、此擔保物ナラモウ一遍勸業銀行ガ此利子デヤツテ呉レルト云フコトハ、後デハ判リマセウガ、ソレニハモウ一遍證券發行ノ手續ヲシナケレバナラス、其場合ニ其證券ガ債務者ノ手ニ戻ッタナラバ、モウ一遍流通スルコトガ出來レバ、債務者ガ其利益ヲ受ケルコトガ出來ルト思ヒマスガ、其點ハドウデスカ

○森田司法書記官 只今ノ御話デアリマスガ、證券ニハ債權額、利息額ト云フモノガ書イテアリマシテ、其證券ガ生命ノアル限リハ、其利息ハ債務者ノ負擔ニナツテ居ルノデアリマス、債務者ガ辨濟ヲ致シマシテ——詰リ證券ノ所持人ノ方カラ言ヘバ辨濟シタコトニナリマスカラ、ソコデ證券ヲ取戻シマスカラ、關係債務ガ無クナリマスカラ、

○篠原委員 現實ノ問題トシテハ利子ヲ下ゲタ抵當證券ガ出シ得ルカモ知レナイガ、モウ一遍發行手續ヲシナケレバナラス、債務者ハ現實ニ利息ノ安クナッタ利益ヲ享有スルニハ、其抵當證券ヲ一遍消滅サシテ、サウシテヤラナケレバイカス、期限ノ問題ガアル場合ニハ、期限前ノ返済カ何カシナケレバ、其手續ハ出來ナイト云フコトニナリマス

○森田司法書記官 勿論デス、證券ノ所持人ト裏書人ト同意スレバ、其證券ノ登記ヲ變更ヲ願ヒマシテ、サウシテ證券ノ記載變更ヲ致セバ、安イ利息ニナルコトハアリマスカレドモ、ソレハ關係人全員ノ同意ガ要リマス

○篠原委員 抵當證券ノ流通ニ依ッテ、段々其證券自身カラ言ヘバ、安イ利子負擔ヲシテ居ル證券ニナリ得タ場合ニハ、第一ノ、最初ノ債務者ガ其利益ヲ享有スベキ資格ハアリマスネ、實際問題トシテソレダケノ擔保物デアツテ、サウシテソレノ讓渡ヲ受ケル人間ガ、サウ云フ利子負擔デ宜シイト云フヤウニナリ得タ場合デアリマスカラ、其時分ニハ、全然新シク全員ノ同意ヲ得テ、ソレヲヤツテ行クカ、全員ノ同意デ登

記ヲ直シテ行キマスカ、サウシナケレバ新發行ノ方法ハナイト思ヒマス、期限前ノ返済ノ場合ニ全員ノ同意ガナイトキニハ、ドウシテモ債務者ガ拘束ヲサレルコトニナリマスカ

○森田司法書記官 期限前ノ返済ヲ債權者ガ承諾スレバ出來ル、承諾シナイ場合ニハ、期限前ノヤハリ利息ノ關係上、返済ガ出來マセヌカラ、已ムヲ得ナイコトニナリマス

○藍川委員 今ノ問題ハ、ヤハリ債務者ハ期限前ノモノデモ返済シナクテモ、證券ノ讓渡ヲ受ケレバ宜イノデセ

○森田司法書記官 讓渡ヲ受ケレバ勿論宜シウゴザイマス

○藍川委員 尙ホ其場合ニ安イ利息デ借りラレル場合ニハ、今ノ御話ノ通りニ、利害關係者ノ同意ヲ得テ、利息ノ安イ變更登記ヲ受ケレバ出來ル譯デス

○森田司法書記官 其通りデゴザイマス

○藍川委員 サウスルト板谷サンノ質問ハ、ソレデ解決シヤシマセヌカ

○篠原委員 不動産銀行ガ其場合ニ、大體サウ云フ貸付ニ應ジテ呉レナケレバ資金ガナイ譯デスネ、債務者ガモウ一遍金ヲ貸シテ呉レト云ツテモ、實際

ノ預リ人ニナラナケレバ、運轉資金ガ出テ來ナイ、其場合ニ不動産銀行ハドウ云フ立場ヲ取ルノデアリマスカ、證券デ輾轉シテ、裏書シテアリマスカラ、新シイ證券デモウ一遍來テモ、融通シナイト云フコトニナリマスカ

○大久保政府委員 只今ノハ個々ノ問題デアリマスカラ、此處デ概括的ニ申上兼ネマス、概括トシテハ今日負擔ヲ背負ッテ居ル土地デモ、現在ノ法律デモ其借替ノ場合ハ出來ルコトニナッテ居リマス、漸次サウ云フモノニシテ行クベキ筈ト考ヘマス、箇々ノ問題ニ付テ此處デ申上ゲルコトハ出來マセヌ

○板谷委員 吾々ノ質問ニ對シテ、政府ノ御答辯ガ不満足デアリマシテ、之ニ關聯シタ質疑ハモウ暫ク保留ノ御許シヲ願ッテ置キタイト思フノデアリマス、尙ホ重要ナ問題ニ付テ三四點質問シタイト思フノデアリマスガ、モウ時間モアリマセヌガ、午後ニ致シマスカ、マダ三四點最モ重大ナ問題ニ付テ御尋シタイ、デ審議ハ出來ルダケ吾々モ誠意ヲ以テ、熱心ニ早メルコトニ努力致シマス

○荒川委員長 只今ノ問題ハ、根本的ニ此證券制度ヲ認メルカ否カト云フコトニナルノデス(イヤサウヂヤアリマセス)ト呼フ者アリ)ソレナラバ抵當權ト云フモノヲ本トシテ、サウシテ其抵

當債權者カラ働イテ行クノガ當リ前デ、ソレヲ根本ガ債務者ニアルト云フコトニナレバ、此抵當證券法ノ根本ヲ變ヘテ行カナケレバナラス、其處ハ別ノ議論デス、——所デソレデハマダモウ二三ハ重要ナル御質疑ガアルサウデアリマスカラ、午後一時カラ委員會ヲ續行スルコトニシテ、是デ休憩致シマス、ドウゾ一時ニハ皆サン御來會ヲ願ヒマス

午後零時十分休憩

午後一時四十九分開議

○荒川委員長 是ヨリ休憩前ニ引續キ委員會ヲ續行シマス、本日ノ會議ハ此程度ニ止メテ置キマス、而シテ明三日前十時ヨリ質疑ノ殘ヲ續行致シテ質問ヲ終了致シ、次デ無盡業法改正案ノ質疑ヲ致シマス、越エテ四日午後一時開會本委員會ノ繫屬各案ノ討議決定ヲ致シ五日ノ本會議ニ報告スルコトニ皆様ノ申合セニ依ッテ決定致シマス、今日ハ之ニテ散會致シマス

午後一時五十分散會